

はじめに

当センターは、地域課題の解決に資する市民活動の育ちをサポートする組織です。市民のニーズに柔軟かつきめ細かに対応することのできる「チカラ」は、市民活動の持つ「強み」であり、私たちはこの「チカラ」を新たな市民社会構築に必要な不可欠であると考えています。

私たちは、活動規模を問わず、市民活動団体がこの「チカラ」をバランスよく育て、個性や能力を十分に発揮し、行政や企業のカウンターパートとして市民社会を構築する新たな担い手として育っていくことを願っています。

そこで今年度は、川崎市の市民活動の現状を調査するにあたり、団体の育ちに必要なチカラを組織運営の観点から調査しました。また集計にあたっては、組織運営が団体の活動年数によってどのように異なるのか検証しました。

この報告書は、その結果をとりまとめたものです。

発行にあたり、私たちはこの調査結果を公表してまいります。市内の市民活動推進機関、市民活動団体、学識経験者等の皆様にこれらの資料を積極的にご活用いただき、市内のボランティア・市民活動団体の育ちに必要な「チカラ」を社会全体でサポートしていく体制づくりに努めていきたいと考えています。当センターの報告書が、その架け橋となることを願ってやみません。

2010(平成 22)年 3 月

財団法人かわさき市民活動センター

目次

I 調査概要	p.1
II 調査結果(概要)	p.2
III 調査結果(詳細)	p.15
(別表)集計表	p.67
(別表)調査協力依頼文	p.86